



ゆきぐに大和病院だより

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、
人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

2012

11月号

ワクチン接種

感染対策委員会委員長（医師）

小林 豊

【予接種】

近年まで日本はずっとワクチン後進国でした。先進諸国で広く接種されているワクチンが日本では使うことができなかったのです。ワクチンで防げる病気を英語の頭文字で略してVPDと言います。

ヒブという細菌による髄膜炎で亡くなったたり重い後遺症に苦しんでいる子どもの数は決して少なくありません。日本における定期接種と同様のプログラムに、ヒブワクチンを組み込んだ欧米諸国はこの病気を99%も減らしました。多くの医師の長年の願いがようやく叶い、2008年から日本でもヒブワクチンが接種できるようになりました。その他のワクチンも次々と認可されています。これらのワクチンによって救うことが可能な命を失わないためにはVPDについて知って実際にワクチンを接種する必要があります。

【子どもがかかりやすい主なVPD】
ワクチンで防げる子どもの病気には次のようなものがあります。

B型肝炎、ロタウイルス胃腸炎、ヒブ感染症（細菌性髄膜炎など）、肺炎球菌感染症（細菌性髄膜炎など）、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核、ポリオ、麻疹（はしか）、風疹、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、水痘（みずぼうそう）

う）、日本脳炎、インフルエンザ、ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がんなど）。ここでは、定期接種と任意接種に分けていくつか取り上げてみます。

【定期接種】

麻疹の予防接種は2006年より前は1回の接種であったため、若い世代に流行が起こりました。現在では小学校入学の前年に2回目の接種をすることになっています。2008年度より中学1年生、高校3年生を対象に定期接種として導入された2回目のワクチン接種の特例措置は今年度で終了します。

日本脳炎はインドから東南アジアでは今なお流行しています。ウイルスはブタの体内で増幅しますが、関東以南の多くのブタがこのウイルスを持つているので、日本でも撲滅にはほど遠い実態です。副作用の問題で2005年以降、厚生労働省は「積極的に接種を勧めない」という方針を取ったため、ワクチン接種を受けていない子ども達が多くなり日本脳炎の流行が心配されています。安全な新しいワクチンが実用化され再び接種が推奨されるようになりましたが、特例措置として「積極的接種の差し控え」によって接種を見合わせていた回数分を定期接種として受けられるようになっていきます。詳しくは保健所等に問い合わせてください。

【任意接種と新しいワクチン】

「定期接種だけ受けていれば良い」と誤解している方も多いようですが、任意接種も必要です。B型肝炎・ロタウイルス・ヒブ・肺炎球菌などのワクチンが多くの先進諸国で「定期接種」の位置付け

となつていくのです。

最初に述べたヒブや肺炎球菌による細菌性髄膜炎は日本でも近年ワクチン接種可能となったVPDです。子どもや赤ちゃがこれらの細菌により髄膜炎になると命の危険ばかりか、助かったとしても発達・知能・運動障害など重い後遺症を残すことがあります。また、最近では抗菌薬（抗生物質）が効かない耐性菌が増加しているため治療より予防が重要と言えるのです。

【予防接種スケジュール】

体を防衛する力が未熟な赤ちゃんの健康を守るワクチンですので遅れずに接種することが重要です。「ワクチンデビュー」は生後2か月の誕生日でスタートダッシュが肝要と言われています。生ワクチンは4週間の接種間隔が必要となりますので、上手に予定を組む必要があります。インターネットから最新のスケジュールを得ることができますし、若いお母さん向けにスマートフォンアプリ「予防接種スケジューラー」が開発されており、利用可能です。次のホームページアドレスをご参照ください。
<http://www.know-vpd.jp/>



また実際の接種に当たっては、かかりつけのお医者さんを持ちその先生に相談することが勧められています。

次ページへ続く
ワクチンで防げる
病気になる質問
「よくある質問」



診療日のご案内

入院患者さまとの面会は、
月曜日～金曜日：15:00～20:00、
土曜日・日曜日・休日：13:00～20:00
となります。(時間厳守)

説明	診療科に対する曜日欄の記載は、○=診療日、— =休診となります。
	○と(休診有)の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。また、曜日欄に「日にち」の記載がある場合は、毎週ではなく診療日限定となります。

整形外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日	
一般外来	予約外	○	○	○	○	○	新患のみ	8:00～10:00	火曜⑨9:00～ 月曜⑨10:20～	
	予約	○	○	○	○	○	—	予約方法は、P3上「予約または予約変更について」をご参照ください		
専門外来	脊椎	—	6日・20日	—	—	—	—	8:00～10:00	10:20～	
	上肢	—	—	—	○	—	—	予約制		
	足	—	—	—	—	9日	—		9:00～	
	リウマチ	—	—	—	—	—	17日	8:00～10:00		

形成外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日
	—	—	—	—	○ (休診有)	—	13:00～14:30	13:30～	休診=2日(金)

医師別の診療予定が必要な方は、医師(名字)・診療日(数字)が記載された一覧を、病院・医療連携室に用意してあります。

病院休診日のお知らせ

3日(土) 祝日・文化の日
9日(金) 午後 院内研究発表会
19日(月) 第3月曜日
23日(金) 祝日・勤労感謝の日
12月1日(土) 創立記念日
※各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間
三種混合	11月2日(金) 12月7日(金)	13:20～ 14:00	13:30～
ポリオ	11月2日(金) 12月7日(金)		
麻しん・風しん混合 1期 2期 3期 4期	12月9日(金)		
日本脳炎	12月16日(金)		
二種混合	11月30日(金)		

※予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。
※小児のヒブ、肺炎球菌、中学生の子宮頸がん予防接種は上記日程全般で行います。

1 ページからの続き
「ワクチンで防げる病気について」

インフルエンザ予防接種のお知らせ

今年もインフルエンザ予防接種を始めました。接種には予約が必要ですので、医事課窓口または電話にてお問い合わせください。

なお、接種日と時間を指定させていただいております。また、1日の人数に限りがありますので、ご希望に沿えないことがあります。ご了承ください。

◎高校生以上・一般の方(1日40人)
12月28日までの間で日にちを指定させていただきます(週3回)
受付=午後1時30分～2時
接種=午後2時～3時

◎中学生以下の方(1日20人)
1月25日までの毎週金曜日
受付=午後3時～3時30分
接種=午後3時～4時

※予約は、月～金曜日(第3月曜日、祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分(土曜日は午後0時30分まで)にお受けしています。

【よくある質問】

Q: ワクチンより自然感染の方が免疫が確実では?
A: 感染症の中には命を落としたり後遺症を残したりするものがあります。予防接種のなかった昔は感染症で多くの幼い命が失われていました。今でも世界的にはロタウイルス胃腸炎で多くの子どもが亡くなっています。また、先に述べたヒブや肺炎球菌に対する免疫は2歳まで自然にはつきません。

Q: 同時接種の必要性和安全性は?
A: 生後2か月から7か月まで、さらに1歳までという短い期間に接種すべきワクチンを一つずつ接種するのは期間の点で無理が生じ医療機関に行く回数が多いという問題があります。現実的には同時接種なくしてスケジュール実現は困難と言えます。同時接種は世界中の多くの人種や民族に対して10年以上前から行なわれておりますが、何の問題も起きていません。同時接種の安全性に問題がないからこそ欧米では混合ワクチンの多様化が進んでいるのです。接種に行く回数を減らすことによって確実に接種できるというのは確かにメリットです。しかし、それ以上により早期に予防接種を済ませ VPD を防ぐという意義が大きいのです。



平成24年11月

診療科

予約または予約変更について

受付日時：予約または予約変更をしたい診療科が診療している日の、
月～金曜日の午後2時～4時（歯科は歯科の受付欄参照）
方 法：電話にて受け付けます。

ゆきぐに大和病院 代表

TEL 025-777-2111
FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	○	○	○	○	○	○	8:00～ 11:00	9:00～	休診＝1日(木)、12日(月) 火曜日＝予約制
内分泌糖尿病	○ (休診有)	○	○	○ (休診有)	○	○			
循環器科	○	備考参照	○	○	—	17日			
腎臓科	—	—	—	—	9日・30日	17日		10:15～	
呼吸器科	—	—	—	○	—	10日・17日・ 24日		9:00～	初診は予約が必要
神経内科	○	○	—	○	○	—			
睡眠時無呼吸	—	—	—	○	—	—		予約制 (3ページ上の記事参照)	13:30～

和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	○ (休診有)	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～	休診＝12日(月)
午 後	○ (休診有)	○	○	○ (休診有)	○	—	13:00～14:30	13:30～	休診＝1日(木)、12日(月) 15日(木)、29日(木)

精 神 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	—	○	—	○ (休診有)	○	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	9:00～	休診＝22日(木)
脳ドック科	12日・26日	—	—	—	—	—		10:00～	
メモリークリニック	○	—	○	—	○	—	予約制	①②9:30～ ③13:30～	
高次脳機能障害科	12日・26日	—	—	—	—	—		13:30～	

外 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
胃腸科 肛門科	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～ 第1・3④ 10:00～	

小 児 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	午前	○	—	○	—	○	8:00～11:00	9:00～	
	午後	—	—	—	—	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	14:00～	
内分泌糖尿病	—	—	—	22日	—	—	14:00～16:30		

婦 人 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般受付	—	○	—	—	○	○	8:00～11:00	9:15～	予約優先
予約制	—	—	○	○	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	10:30～	

眼 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般受付	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	予約優先
予約制	—	13日・27日	○	○	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	10:15～	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	
	—	○	—	○	—	—	13:00～15:00	14:00～	
皮膚科	—	○	○	—	○	—	8:00～11:00	9:00～	
泌尿器科	—	—	—	○	—	—			

歯 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
歯科・小児歯科	○	○	○	○	○	○	予約制 〔電話予約可 10:00～12:30 13:30～17:15〕	9:00～	
矯正科	—	—	7日・14日・ 28日	—	—	—			
歯科口腔外科	○	○	—	○	○	○			

看護師教育と

地域医療の繋がり

看護師部の活動を紹介します

看護部教育部長 佐藤 佐委子

当院における看護師教育について

専門職である看護師は、学校を卒業した後さまざまな勉強を積み重ねる必要があります。当院の看護部でも、卒業後に「新人教育プログラム」に沿って1年間は、技術や技能などの看護に関するトレーニングを行います。その後は、卒後教育としての必須研修があります。その他にも看護職員全体を対象にした「看護講座」や、卒後8年以上の看護師を対象にした、「組織や経営等の管理を学ぶ「マネジメント研修」」があります。今年さらには、次の世代を担う看護師に向けて、「中核ナース研修」も行いました。

また、研修会だけでなく専門分野の探究や開発という意味では、「看護研究」に取り組むことや、院外研修への参加、「認定看護師」や「専門看護師」等の資格を得る等、看護の質を高めるための研修と、自身を磨いていく努力が求められています。

地域活動と看護師確保について

ゆきぐに大和病院の理念に基づき、看護部の理念は「その人らしい生活を支え、とぎれない看護を提供します」としており、教育方針の中にも「地域に貢献できる看護師の育成」が盛り込まれています。このように知識・技術と経験を積み重ねた看護師は、病院だけでなく地域活動として「定期往診」「訪問看護」「居宅介護支援（ケアマネージャー）」「山岳マラソンや火渡り大祭・裸押し合い大祭の救護」など、さまざまな場での活動も行っています。

また、地域に向けた活動の他に、将来安心して医療が受けられる体制づくりのため看護師確保対策を行うことも私たちの使命であり、「中学生の職場体験」「高校生一日看護師体験」等や看護学生の実習受け入れも行っています。

今後も、地域の医療を支えていくことや、ゆきぐに大和病院の看護を継続させていくことが、私たちの重要な役割であると考えています。



家庭や職場で感染を予防しましょう

感染対策委員会

これから冬期間にかけてインフルエンザを始め、ウイルスや細菌による胃腸炎などの感染症が流行する時期になります。これらは感染力が強く、家庭や職場などに感染者がいると、周囲の人に感染（これを二次感染といいます）してしまい、ときには集団発生にまで至ってしまう場合があります。

家庭や職場で感染を予防できる簡単で最も有効な方法は、「手洗い」と「うがい」の励行です。

【手洗いのタイミング】

ウイルスや細菌は、主に触れた手を介して感染が広がります。症状が出ている人はもちろんですが、予防の基本として、普段から外出先から帰ったときや調理前、食事前、トイレの使用後には必ず手を洗うようにしましょう。

【実際の手洗い方法】

まず、洗い残すところがないように、手洗い前に時計や指輪などははずしましょう。次に、石鹸をよく泡立てて、こすり洗いをします。特に指や手のひらのしわの間、手首などもよく洗い、最後は流水できれいに洗い流します。

【手ふきについて】

ウイルスは手を介して感染が広がります。特に注意していただきたいのは、職場や集団の場での手ふきは、使い捨てのペーパータオルを利用するか、個人でハンカチなどを使用するようにしましょう。できれば、手ふきタオルを共用しないようにすることです。

【うがいなどの予防方法】

インフルエンザの流行時には、帰宅した直後、外からウイルスを持ち込まないように手洗いをするとともに、「うがい」をすることも有効な予防方法になります。また、人混みへの外出を控え、マスクをつけて外出することも、予防する上で重要になります。

なお、咳（せき）やくしゃみなどの症状がある場合は、必ずマスクをして、しぶきを周囲の人に飛ばさないようにすることが、二次感染の予防につながります。

この「咳エチケット」を皆さんから励行していただきたいと思えます。

